

《担当者名》山田桃子 yamada-m@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

この授業では、日本の近現代の文学について、複数のテーマから取り上げ、考えていく。授業を通して、作家や文学思潮といった視点にとどまらない、多角的な視点から文学について考えられるようになること、また日本文学という領域や作品と関わる歴史・文化・社会について理解を深めることを目指す。

【学修目標】

一般目標

幅広い教養を身に付け、多角的な物の見方を養うために、日本の近現代の文学や、それと関わる歴史・文化・社会について様々な視点から学ぶ。

行動目標

1. 作家や文学思潮といった視点にとどまらない多角的な視点から、文学領域や作品について説明、解釈できる。
2. 日本の近現代の文学やそれと関わる歴史・文化・社会について理解を深め、説明することができる。また、それを今この自身に繋がる問題としても捉えて考えを進め、自分の考えを説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	授業の概要や学修目標について説明できる。	山田桃子
2	メディア技術と文学1	作家の顔写真をめぐる歴史とその問題について、ポイントを説明できる。	山田桃子
3	メディア技術と文学2	映像文化の影響を受けた戦前の実験的な文学について、ポイントを説明できる。	山田桃子
4	メディア技術と文学3	文学作品の映像化をめぐる歴史について、ポイントを説明できる。	山田桃子
5	労働と文学1	プロレタリア文学をめぐる歴史について、ポイントを説明できる。	山田桃子
6	労働と文学2	授業で取り上げる、労働をめぐる昭和期の小説とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
7	労働と文学3	授業で取り上げる、労働をめぐる現代の小説とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
8	中間まとめ / 小課題	前半の講義を振り返り、小課題を提出する。	山田桃子
9	「日本文学」をめぐる歴史・政治	「日本文学」というカテゴリーをめぐる歴史・政治的問題について、ポイントを説明できる。	山田桃子
10	戦争と文学1	戦時下の詩とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
11	戦争と文学2	授業で取り上げる、戦中が舞台となっている小説とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
12	病と文学1	授業で取り上げる、病をめぐる明治期の小説とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
13	病と文学2	授業で取り上げる、病をめぐる昭和期の小説とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
14	障害と文学	授業で取り上げる、障害をめぐる小説とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
15	まとめ	講義のまとめについて、ポイントを説明できる。	山田桃子

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業内で実施する課題40%、試験60%であわせて評価する。

【教科書】

教科書は使用しない。資料を配布する。

【参考書】

授業内で随時紹介する。

【備考】

課題や授業の感想の提出にmanabaを利用する。

【学修の準備】

予習：予告されたテーマ（キーワード）やその時代について、事前に下調べをする。あるいは次回が小説を扱う回なら作品を読む（扱う作品は初回に説明する。短編は授業で資料を配布する予定。一応事前に読んでいなくてもわかるように説明するつもりだが、事前に読んでいた方が勿論理解は深まる）。（80分）

復習：毎回の授業内容について、資料で復習を行う。また、課題を行う。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。